

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 2月 3日

事業所名 キッズサポートsorauta.

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○		マンツーマンで接することができるように多めに職員を配置して	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		子どもたちが整理整頓しやすいように箱に画像を貼ったり、集中の妨げにならないように目につくものを少なくする等の構造化を行っています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		時間ごとに清掃の時間を設け、消毒等の感染対策を実施しています	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		明確な目標を定め、定期的な振り返りを実施しています	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートを配布し、支援の質の向上に努めています	感染対策に留意し、保護者との面会の機会を増やすことを検討しています
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開し、支援の質の向上に努めています	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在外部からの評価については検討中です。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部の専門家による研修を定期的実施しています	再度年間計画を作成し、計画的に職員の資質の向上を図ります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		定期的を使用している	職員にも情報を共有し、適切な支援に繋がるよう有効に活用する手段を検討しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援に関わる従業員が支援計画の内容を把握し、実際の支援にいかせるよう情報共有をしています	具体的な支援に落とし込めるように従業員間で協議する機会を増やすことを検討しています
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		利用児の特徴、人数を考慮したうえで、バランス良く配置できるよう従業員間で共有しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用児の特徴、人数を考慮したうえで、バランス良く配置できるよう従業員間で共有しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		必要に応じて個別活動を取り入れています	個別支援の機会を増やせるよう検討しています
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼や個別での伝達を含め、必ず打ち合わせを実施しています	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返りでの内容を共有し、次回以降に活かせるような工夫を検討しています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		開催される場合には、児童発達支援管理責任者を中心に、状況に応じて担当者が出席しています。	今後は児童発達支援管理責任者や担当者など、適任者を選んで出席します。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて関係機関との連携を行っています		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	/	/	/
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	/	/	/
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保護者のご要望や状況に応じて情報共有を図っています	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保護者のご要望や状況に応じて情報共有を図っています	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			公開療育に参加している	コロナが終息した際には、県内外に限らず研修、情報交換、交流の場を設けたいと思います
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在はコロナの影響もあり実施していませんが季節の行事時の交流を検討中です。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		現在はコロナの影響もあり参加を見送っていますが、オンライン配信などがありましたら参加させていただきたいです。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			状況に応じて面談の機会を設けるなど、共有するように努めています	感染対策に留意し、保護者との面会の機会を増やすことを検討しています
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○			コロナの影響もあり実施できていませんが、終息した際には実施する予定です
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			モニタリング等の時に確認をしていただき押印を頂いています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			必要に応じて実施しています	感染対策に留意し、保護者との面会の機会を増やすことを検討しています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在はコロナの影響もあり実施できていません	コロナが終息した際には、実施できるよう検討しています
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			児童発達支援管理責任者を中心に、電話や面談等で適切に対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			定期的に発信していますが、十分に伝えきれていない点もあるようです。	しっかりとお伝えできるよう、伝え方を工夫したいと思います。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			鍵付きのチェストの使用	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在はコロナの影響もあり実施できていません	終息した際には検討します

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		年に2回の消防訓練や、活動の一環として周辺の避難場所の確認を実施しています	災害等が増えている情勢を踏まえ、訓練の頻度、内容を再度検討しています
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回の消防訓練や、活動の一環として周辺の避難場所の確認を実施しています	災害等が増えている情勢を踏まえ、訓練の頻度、内容を再度検討しています
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に得た情報を共有するようにしています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に得た情報を共有し対応しています	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例集の作成をし都度話し合いをし改善できるようにしています	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部での研修に参加し、ミーティングで内容を共有しています	年間の研修計画の中に組み込むよう検討しています
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		全職員がガイドラインを確認していますが、突発的に起こった際に対応できるか再度確認が必要だと思います。	社内研修、ミーティングを通して更に徹底するようにします